

南薫造と

東京美術学校

の生徒たち

*Kunzo Minami
and
the Painters of
Tokyo Art School*

出品作家：南薫造・天野文作・井上自助・荻太郎・手島守之輔・新延輝雄・宮城健盛・山本仁朗・渡辺武夫



南薫造《農村風景Ⅰ》大正初期頃

2019年 9/5 (木) ⇒ 12/15 (日)

休館日：火曜日（ただし10/22は開館，10/23は休館） 開館時間：9:00-16:30

観覧料：一般150(120)円、高校生90(70)円、小・中学生60(40)円

* ()内は20名以上の団体料金。呉市に在住、または通学する小・中・高校生は無料。
広島中央地域連携中枢都市圏（竹原市・東広島市・江田島市・熊野町・海田町・坂町・大崎上島町）の小・中・高校生は無料。呉市いきいきパスをお持ちの方、障害者手帳等をお持ちの方は無料（要証明書）

南薫造記念館
KUNZO MINAMI MEMORIAL MUSEUM
〒737-2519 呉市安浦町内海南2丁目13-10
TEL(0823)84-6421

南薫造と 東京美術学校 の生徒たち

昭和7年から昭和18年まで、東京美術学校の教授を務めた南薫造は、生徒の個性をうまく引き出し、長所を伸ばす指導で多くの後進を育てました。おおらかでユーモアあふれる南教室は人気があり、多くの学生が絵を見てもらうために南の自宅を訪れました。普段は物静かな南でしたが、学生が展覧会に入選した時は、まるで自分のことのように喜んだといいます。

本展では、近代日本洋画壇の巨匠・南薫造と、その生徒たちの作品を一堂に展示し、師弟の温かな交流とその多彩な魅力を紹介します。



宮城健盛 《桂林夕景》



井上自助 《函館の午後》



渡辺武夫 《カーニュ・シュール・メール》

小企画①

10/31(木)まで

軍事郵便 南薫造が描いた戦争

南薫造が軍事郵便用に描いた絵はがきやデッサンを展示します。

11/1(金)から

南薫造と東京美術学校

南薫造の学生時代から教授時代の東京美術学校に関する資料を紹介します。

小企画②

9/30(月)まで

絵はがきで見る 南薫造の画業 — 帝展編 —

10/1(水)から

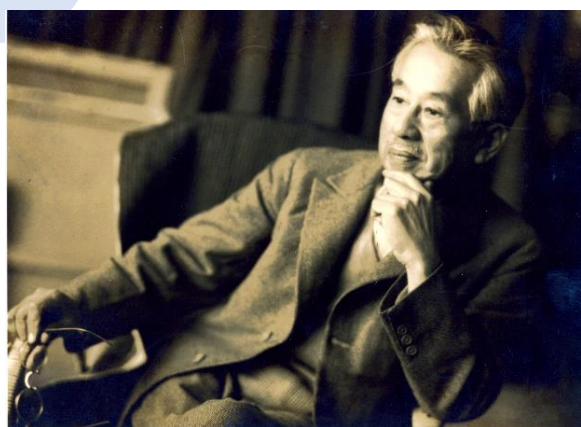
絵はがきで見る 南薫造の画業 — 新文展・日展編 —

小企画③

2019年2/3(月)まで

文筆家・南薫造 — 『画室にて』より —

南薫造の随筆集『画室にて』の初版本や、自筆原稿を展示します。



南薫造

南薫造(1883-1950)は、医者の子として広島県賀茂郡内海町(現・呉市安浦町)に生まれる。東京美術学校(現・東京藝術大学)に学び、卒業後はイギリスに留学。帰国後は文展、帝展などで入選を重ね、優雅で温かな画風が高く評価され、帝国芸術院会員や帝室技芸員として活躍した。母校・東京美術学校では教授として後進の指導に当たり、多くの芸術家との交流を通じて日本洋画の発展に貢献した。戦時中から郷里・安浦に居を移し、戦後は広島島の美術の発展に尽力しながら、瀬戸内の風景を多く描いた。



【アクセス】

■車利用の場合

呉市内から国道185号線を竹原方面へ。クリアライン 呉ICより約60分。敷地内の無料駐車場をご利用下さい。

■JR利用の場合

JR呉線安浦駅下車、徒歩約900m。

南薫造記念館

KUNZO MINAMI MEMORIAL MUSEUM

〒737-2519 呉市安浦町内海南2丁目13-10 TEL(0823)84-6421